

山本浩一郎 トロンボーン

Ko-ichiro Yamamoto, trombone

東京都出身。元日本フィルハーモニー・トロンボニストである父、辰夫氏にトロンボーンを師事、後に箱山芳樹氏に師事する。

1987年東京音楽大学付属高校トロンボーン科に入学、伊藤清、故白石直之各氏に師事。1988年、オーストラリアにおいて行われた国際トロンボーンコンクール第4位。1991年全日本管打楽器コンクール第1位並びに大賞受賞。1992年プラハの春国際コンクールディプロマ受賞。同年スウェーデンのピテアにおいて最優秀ソロイスト賞を受賞。

1990年から1993年にハンガリーのブダペスト・リスト音楽院に留学。トロンボーンをT.Sztan氏、ならびにG.Hoena氏に師事。同校在学中よりハンガリー・フェスティバル・オーケストラの契約団員として参加。1993年にアメリカ・ニューヨークに渡り、1994年にジュリアード音楽院に入学、トロンボーンをジョセフ・アレシ氏に師事する。在学中の1996年、メトロポリタン歌劇場管弦楽団に、210名の応募者の中、日本人金管奏者として初のアメリカ・メジャー・オーケストラ奏者として入団。同管弦楽団在籍中はレヴァイン、ゲルゲイフ、エッシェンバッハを始めとする多くの指揮者の元トロンボニスト、そしてワーグナーの「指輪」に於いてソロ、バストラランペットを担当。2005年の退団後も特別契約奏者としてメトオペラのニューヨーク公演、そして日本ツアーにも参加している。ニューヨークでは同管弦楽団以外でも精力的な演奏活動を行い、ニューヨーク・フィルハーモニック、メト・チャンバー・オーケストラ、グランド・ティータン・オーケストラ、ブロードウェイ・ショー、多数のテレビやコマーシャル、そしてアーティストの録音にも参加。2005年にシアトル交響楽団にソロ・首席奏者として移籍。現在もソロイストとしても精力的な活動を続けている。

2001年に東京オペラシティ[B-C]リサイタル・シリーズを始めとし、全国各地で多くのリサイタル開催。多数のオーケストラ、吹奏楽団ともソロイストとして共演している。2007年にはワシントンD.C.において行われたEastern Trombone Workshopにソロイストとして招かれ、グランド・ガラ・コンサートに出演。2008年にはユタ州にて行われたInternational Trombone Festivalにゲスト・アーティストとして招かれリサイタルとマスターズ・クラスを行う。2009年4月にはシアトル交響楽団の委嘱によるサム・ジョーンズ作曲の「トロンボーンとオーケストラの為の協奏曲」を世界初演予定。

クリニックや客演教授としてアメリカ、日本、そしてアジア各国でマスターズ・クラスやクリニックを行い、2005年よりワシントン州立大学音楽学部においても客演教授として後進の指導にあたっている。

小澤征爾音楽監督が指揮するサイトウキネン音楽祭には1999年から首席奏者として参加。過去に3枚のソロアルバムも発表し、日本はもとより、アメリカやアジア各国においても高い評価を得ている。2008年よりYAMAHA Co. of Americaのアーティストとクリニックを務め、楽器の開発にも協力している。

オフィシャル・ウェブサイト：www.koichiroyamamoto.com